



東伊興小だより

令和6年6月28日
足立区立東伊興小学校
校長 藤原 かほり

目の前の人を理解するための想像力

副校長 江幡 隆志

6月1日はおかげさまで晴天に恵まれ、とてもよい運動会となりました。準備・片付け等に多くの保護者の方々に手伝いをいただきました。本当にありがとうございました。

さて、本校の運動会は終わりましたが、世界的規模の運動会？＝パリ2024オリンピックが近づいています。7/26～8/11まで開催されます。とても楽しみです。そして来年にはデフリンピック東京大会も開催されます。デフリンピック？となってしまう方もまだ多いかもしれません。デフリンピックとはろう者（重度難聴）の方たちのオリンピックのことです。そのデフリンピックの卓球の銅メダリストに、亀澤史憲さんという方がいらっしゃいます。先日、私はその亀澤さんのご講演を拝聴する機会に恵まれたのです。

亀澤さんは平成5年東京生まれ。3人兄弟。家族でろう者は亀澤さんだけ。彼が3歳のころ異常な音量のTVの前で一人で平然としていたことから、耳がほとんど聞こえないことに家族が気づいたそうです。補聴器を使っても、線路のガード下でようやく少し音が聞こえる程度です。そのため3歳から18歳までろう学校の幼・小・中・高等部と進むことになりました。ハンデを克服するために、勉強はとても厳しくやらされたそうです。それに加えて、なんといっても発音練習が毎日長時間続いたそうです。人の声が聞こえないので、まねで覚えることができないからです。また、会話できるように手話はもちろんですが、読唇術という唇の動きで何と言っているのかわかるようにも練習したそうです。卓球は中学校からやり始めて高校で上達、大学でも継続を希望し、ろう者にも対応できて卓球も強い東北福祉大学に入りました。大学の卓球部は健常者がほとんどでした。それに負けられないように取り組むことで、より力をつけました。また、健常者が自分とのコミュニケーションをとるときの不安を取り除き、自分を知ってもらうために自分から積極的に健常者の輪に飛び込んだそうです。そして国内外で上位入賞するようになったのです。亀澤さんは講演で、障がい者だけでなく差別をなくし、人権を大切にするためには、理屈などではなく、まず目の前の人を理解しようとすること、そのために想像力を働かせることだとおっしゃっていました。

みなさんどうでしたか？亀澤さんがどのような気持ちでそれぞれの時を過ごしたのかを、想像できましたか。障害だけでなく、人にはそれぞれの人生があって、心情があって、経験があります。目の前の人今の状況や思いにはそれなりの理由・歴史があるわけです。それを必死に想像した上で相手に接することをすれば無用な怒りや誤解、ぞんざいな対応などは減るのではないかと思います。みんながそれを実行している世の中を想像してみてください。……いかがですか？

7月の行事予定

1	月	朝会（キャリアタイム）、委員会（5.6年） ひがし学習月間開始（～19日まで）	17	水	避難訓練（一斉下校）着衣泳（4年）
2	火	個人面談①	18	木	すっからかんデー 着衣泳予備日（4年）
3	水	安全指導	19	金	プール納め集会 水泳指導終 ひがし学習週間終
4	木	ゲーム集会 個人面談②	7月22日（月）～8月2日（金）※土日除く サマースクール		
5	金	個人面談③ プラネタリウム（4年）			
6	土				
7	日				
8	月	クラブ（4.5.6年）出前授業（4年） たてわり班遊び	8月 8月13日（月）～8月16日（金） 学校閉庁		
9	火	個人面談④			
10	水	午前授業			
11	木	放課後ステップ			
12	金	個人面談⑤			
13	土				
14	日				
15	月	海の日			
16	火		9月1日（木）から学校が始まります。		

◎運動会の様子

1年



1年生の「50m走」では、最後まで全力を出し切り、走り抜けていました。

「かごまでとどけ！レッツエビカニクス」では、ダンスと玉入れ、二つの動きを交互に行い、練習の成果を発揮し、玉をたくさん入れることができました。

「おどる ポンポコリン～あたしや、1ねんせいだよ～」では、元気いっぱいかわいらしく披露しました。

初めての運動会で暑い中、自分の競技、他学年の応援等、一生懸命頑張った1年生でした。

2年



2年生の出場種目は、「50m走」「へイ・おまち！」「Bling Bang Bang Born～みんながスター 2年生～」の3種目でした。

暑い中でしたが、子どもたちは練習の成果を発揮し、がんばっていました。

「50m走」では、最後まで力を出し切ることのよさを、「へイ・おまち！」では、友達と協力することのよさを、

「Bling Bang Bang Born」では、みんなの力を合わせて一つのよいものを創ることのよさを学ぶことができました。

3年



朝、たくさんの方々の懸命な校庭の整備のおかげで、「80m走」を行うことができました。初めての曲走では、誰一人転ぶことなく、一生懸命走りゴールすることができました。

団体競技のアイドル棒引きでは、アイドル（棒を取る人）をファン（待機している人）のみんなが応援し、熱戦を繰り広げました。

ダンスの東伊興坂79では、〇〇坂のアイドルに負けにくいぐらいの真剣さでダンスをすることができました。学級ごとの決めポーズやずらして座る場面など練習以上の力を出して、精一杯素敵に発表することができました。本当にがんばりました。

4年



4年生の「80m走」ではゴールを目指して一生懸命に走り、「大玉リレー」では仲間と協力して全力で行うことができました。

表現「ダイナミック東伊興～心を一つに、イーヤーサーサー～」では、腕を伸ばすところや太鼓を叩くタイミング、大きく動く所などを何度も練習し、心を一つに元気いっぱいの踊りを披露しました。また掛け声も気持ちの入った大きな声が校庭に響きました。その他にも、応援合戦や他学年の競技の応援など、運動会を楽しみました。全力を出し切って頑張った4年生でした。

5年



5年生は自分たちの競技だけでなく、それぞれの係児童の仕事でも運動会を支えました。「100m走」は全力で走り抜け、「台風92号」では、赤白それぞれが仲間と協力して全力を出し切りました。表現では、東伊興小学校伝統の「南中ソーラン」とダンス「爽涼鼓舞」を披露しました。練習では速いリズムに合わせて、腰を低くして踊ったりすることに苦戦していましたが、本番では練習してきた成果を発揮し、「One Team ソーラン」のタイトル通り学年で心を一つにし、迫力ある踊りを披露しました。

たくさんのあたたかい拍手と声援を送っていただき、ありがとうございました。

6年



6年生の「100m走」は、それぞれが全力で走り抜けました。団体競技では、友達と協力して大玉を運んだり、声を掛け合って二人三脚をしたり、学級で一致団結することができました。

表現種目では、ルパンの曲に合わせて、かっこよくダンスを踊りました。息を合わせた演技をしよう、と一つ一つの動きやタイミングなど、細かい部分にも気を付けながら練習を重ね、本番では最高学年らしい堂々とした演技を披露しました。

準備や係の仕事、応援団などにも真剣に取り組む姿は堂々として頼もしく見えました。